

「野村アクア投資」

Aコース（為替ヘッジあり）/Bコース（為替ヘッジなし）

ご参考資料 | 2020年8月24日

安全な水資源提供への関心から需要が高まる水関連株式

ポイント



1. 堅調なパフォーマンスを誇る水ファンド
2. 厳選投資する4つのビジネス分野
3. 安全な水資源の提供に関心が集まる

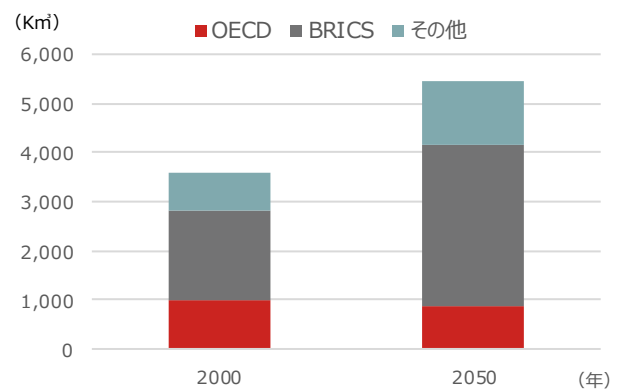
1. 堅調なパフォーマンスを誇る水ファンド

地球上に存在する水のうち、海水や氷河、地下水を除いた比較的利用しやすい水は、0.01%と非常に限られています。一方で、人口増加と経済成長による1人当たりの使用量増加により、水需要は長期にわたって増加すると考えられています。限られた水を多くの人々に届けるには、水道設備の充実と水の再利用が必要となります。しかし、水インフラの老朽化や水汚染等の深刻化がこれらを妨げています。

この希少な水は、ESG（環境・社会・企業統治）の重要な観点とされています。このESGの観点を考慮し、世界の水問題の解決に取り組む企業へ厳選投資しているのが、「野村アクア投資（以下、当ファンド）」です。2020年7月末までの直近1年間で、当ファンドのBコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンスは+8.4%と、世界株指数の+3.0%をアウトパフォームしました。アジレントテクノロジー（米国、ヘルスケア）、サーモフィッシャーサイエンティフィック（米国、ヘルスケア）、ダナハー（米国、ヘルスケア）等の水質・分析銘柄の株価が上昇したことにより、世界株式に比べ高い上昇となりました。

掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

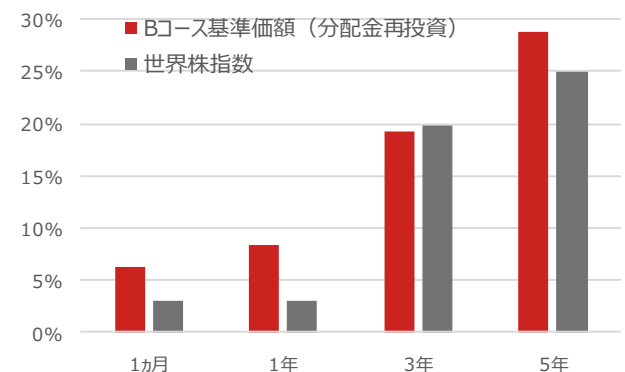
水需要の予測



(期間) 2000年と2050年の比較

(出所) OECD「OECD Environmental Outlook to 2050」(2012年)のデータを基に野村アセットマネジメント作成

パフォーマンス比較



(期間) 2015年7月31日～2020年7月31日

パフォーマンスの各期間は、2020年7月31日から過去に遡った期間。

基準価額（分配金再投資）については5ページをご参照ください。世界株指数については7ページをご参照ください。当指数は当ファンドのベンチマークではありません。

(出所) Bloomberg等のデータを基に野村アセットマネジメント作成

2. 厳選投資する4つのビジネス分野

当ファンドは、水問題に取り組む上で重要だと考える施設運営、建設・エンジニアリング関連、水質・分析、水処理に厳選投資しています。

施設運営

一般家庭に水の供給、排水サービス等を提供する企業に投資しています。スエズ（フランス、公益）、カントン・インベストメント（中国、公益）等の水の公益企業、総合公益企業が対象となります。

建設・エンジニアリング関連

水道管・配管設備、水路、家電・水道メーター、水回り住宅設備メーカー等に投資しています。マスコ（米国、資本財・サービス）やレクスノード（米国、資本財・サービス）等、水の漏洩改善、効率利用に必要な製品・サービスの提供企業です。

水質・分析

汚染を測定するセンサー等、水質分析に関する製品とサービス等を提供する企業に投資しています。水中の環境汚染物質の分析・検出・モニタリング装置を提供するアジレントテクノロジー、規制に準拠した飲料水、排水かどうか等を検査する分析機器等を提供するサーモフィッシャーサイエンティフィック等が挙げられます。

水処理

バルブ、ポンプ、統合水処理システム、水処理薬品、灌漑システムのメーカー等に投資しています。栗田工業（日本、資本財・サービス）やザイレム（米国、資本財・サービス）等、水中にある化学物質の処理や水の再利用に必要な製品・サービスを提供している企業です。

水ビジネスのイメージ図



掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

3. 安全な水資源の提供に関心が集まる

安全な水資源の提供に関心が集まる

昨今、経済成長の早い新興国では、生活排水や工場排水の増加により、水資源の汚染が進んでいます。例えば、中国では汚染が深刻な、中国の7大河川の1つ海河では過半数以上が飲用に適しておらず、農業・工業用にも使用できない水も多くあります。また、インドでは、下水が処理されることなく川に流れていることもあり、多くの地表水が汚染されていると言えます。また、ベトナムでも、生活排水や産業廃水の多くが、未処理のまま海や川に排出されており、健康被害や観光資源の毀損などに波及し、2035年までにGDPの約3.5%が失われると計算されるほど、水質汚染が深刻化しています。このような背景から、中国では水質汚染防止法をより厳しく改正する等、安全な水資源の提供に注目が集まっています。

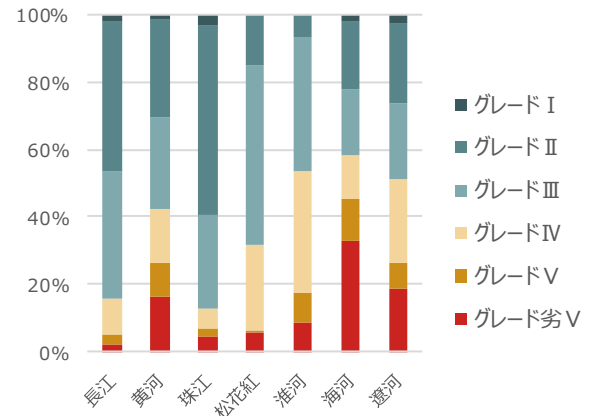
施設公益から水質・分析へ

2010年代前半は、世界的な低金利と景気低迷のなか、相対的に配当利回りが高く業績動向が景気の動向を受けにくいこと等を背景に、施設運営企業に投資機会が多くありました。現在は、新興国を中心とした環境問題の高まりを背景に、水質・分析企業に成長機会が豊富にあります。例えば、パーキンエルマー（米国、ヘルスケア）では、新興国における健康・環境意識の高まりを見越して、中国、インドといった新興国へも積極的に進出しています。当ファンドの投資別配分を見ると、2012年12月末には「施設運営」の割合が相対的に高めでしたが、2020年7月末では「水質・分析」の割合が増加しています。このように時代の変化に合わせた銘柄選択がファンドのパフォーマンスを支えています。

掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

中国の7大河川水系の水質状況

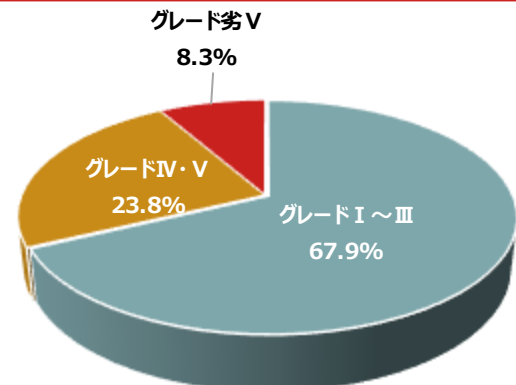


グレードIからIIIまでは飲用水として利用可能な水質。グレードIVは一般工業用水として利用可能な水質、グレードVは農業用水として利用可能な水質、グレード劣Vはいずれも利用できない利水機能を喪失した水。

* グレードは、中国の「地表水の水質環境基準」による。

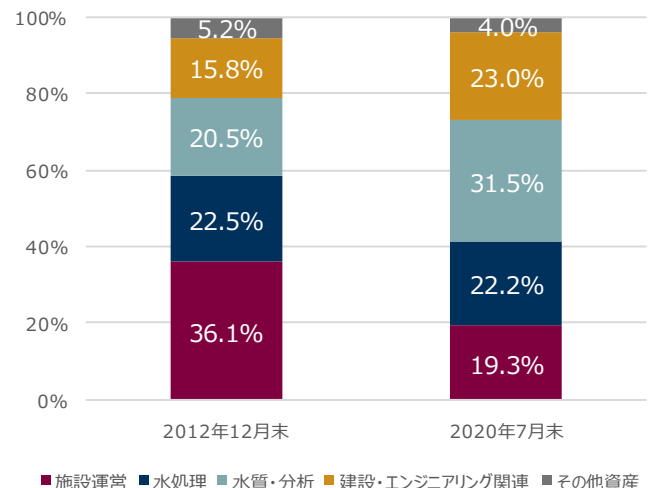
(出所) 2017年度中国環境状況広報を基に野村アセットマネジメント作成

中国の地表水の水質状況



(出所) 2017年度中国環境状況広報を基に野村アセットマネジメント作成

当ファンドの投資分野別配分



期間：2012年12月末と2020年7月末

(出所) 当ファンドのマザーファンドのデータを基に野村アセットマネジメント作成

水質汚染問題に貢献する注目銘柄

ダナハー（米国）

企業概要：水の分析、処理、管理において高度な精密機器と浄化技術を提供

注目ポイント

同社製品は、環境効率の高いソリューションを提供することで、水質目標の達成に貢献しています。都市下水、飲料水、環境汚染物質処理、住宅用水処理、食品および飲料製造、医薬品処理、半導体用途で使用される水の超精製等、幅広い産業にサービスを提供しています。同社の製品は、102カ国以上、世界最大の紫外線消毒施設を含む何千もの施設で採用されており、ニューヨーク市にある同社の施設は、1日に約850万キロリットルの飲料水を処理しています。独自の技術、顧客満足度等で競合他社を圧倒しています。

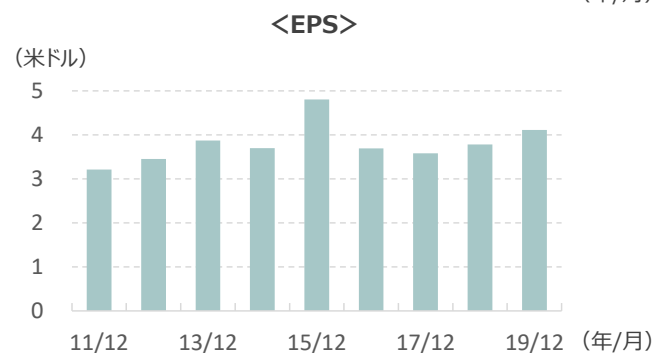
パーキンエルマー（米国）

企業概要：水質環境、ライフサイエンス等の研究分野、水質改善の先端分野で製品・サービスを提供

注目ポイント

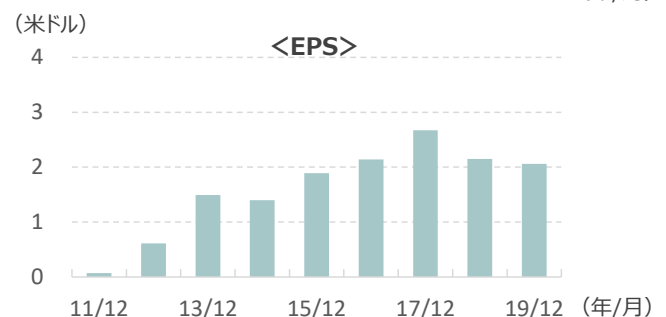
世界で10億人を超える飲料水の安全テスト等に、同社製品が使用されています。米国のカリフォルニア州のある地区は、隣接する地区から排水を受取り、飲料水準に合わせて処理しています。その際、同社製品を、試験・分析用途で採用しており、同社製品は持続可能性を目指した活動に貢献しています。他にも、現在大きな問題となっている、水中のマイクロプラスチックの識別調査等にも、同社の製品は使用されています。

ダナハーの株価とEPS（一株当たり利益）の推移



期間：（株価）2010年12月末～2020年7月末、月次
（EPS）2011年12月期～2019年12月期、年次
（出所）Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

パーキンエルマーの株価とEPSの推移



期間：（株価）2010年12月末～2020年7月末、月次
（EPS）2011年12月期～2019年12月期、年次
（出所）Bloombergのデータを基に野村アセットマネジメント作成

掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの運用状況

期間：2007年8月29日（設定日）～2020年8月18日、日次

Aコースの基準価額の推移



Bコースの基準価額の推移



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定日より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

(ご参考) 「野村アクア投資」の積立投資のシミュレーション

積立投資の魅力

投資信託への投資方法の一つに、定期的に一定額、もしくは一定数を買付け「積立投資」があります。

「積立投資」は、買付けのタイミングを分散させることで、買いコストをならしつつ資産形成を進めることが可能となります。また、一定額で積み立てた場合、基準価額が高い時には少なく、安い時には多く買付けするため、一定数で積み立てた場合より、平均コストを低く抑えることが期待できます。

このことから、投資のタイミングに迷われる方や、これから将来に向けて資産を築いていこうという方には、是非ご検討頂きたい投資方法です。

左下のグラフは、ファンドに、設定月末の2007年8月末から毎月末に5万円ずつ積み立てたと仮定した場合の投資総額と積立評価額の推移を表しています。

2020年7月末時点の積立評価額は約1,438万円となり、同時点の投資総額780万円を大きく上回りました。

「積立投資」といえ、スタートタイミングや売却のタイミングにより、その成果には差が出ます。

右下の表は、2007年8月末から2020年7月末の期間において、積立開始月を1年ずつずらして、毎月5万円を5年間継続して積み立てた事例です。評価益がマイナスになったケースは、下記の9事例の中では、リーマンショック後の安値圏で積立投資を終了させてしまった1回のみです。投資総額300万円に対する積立評価額は、最大で504万円、最低259万円、平均389万円となりました。

当ファンドの積立投資のパフォーマンス



上記は、2007年8月末から「野村アクア マザーファンド」に毎月末5万円ずつ積立投資を行なった場合のシミュレーションです。

「野村アクア マザーファンド」の設定日（2007年8月29日）の月末である2007年8月末を10,000として各月間騰落率を用い算出しています。ファンドと同様の購入時手数料（3.3%）、運用管理費用（信託報酬相当分の年1.76%）を控除しています。上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、マザーファンドのパフォーマンスを基に試算した結果であり、実際のファンドで積立投資をする場合とは異なります。積立の時期によっては、積立評価額が投資総額を下回る場合があります。

当ファンドに5年間積立投資した場合の例

積立開始	積立終了	投資総額 (万円)	積立評価額 (万円)	積立評価益 (万円)
2007年8月	2012年7月	300	259	-41
2008年8月	2013年7月	300	417	117
2009年8月	2014年7月	300	472	172
2010年8月	2015年7月	300	504	204
2011年8月	2016年7月	300	408	108
2012年8月	2017年7月	300	394	94
2013年8月	2018年7月	300	358	58
2014年8月	2019年7月	300	339	39
2015年8月	2020年7月	300	350	50



「野村アクア投資」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界の水関連企業(水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業)の株式を実質的な主要投資対象^{*}とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村アクア マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 株式への投資にあたっては、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行なう企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ、バリュエーション、流動性等の観点を踏まえて銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「野村アクア マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、ロベコSAM AGに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年3月および9月の16日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。
^{*} 委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

<当資料で使用した指数について>

世界株指数：MSCI World指数（円換算ベース）ファンドの市場反映タイミングに合わせ日ずらししています。

<当資料で使用した指数の著作権等について>

- MSCI World指数はMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

「野村アクア投資」

【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2022年9月16日まで(2007年8月29日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、3月および9月の16日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ●ご購入単位 ●ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ●スウィッチング ●お申込不可日 ●課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スウィッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2020年8月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スウィッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.76%(税抜年1.60%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スウィッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【分配金に関するご留意点】

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資家の個別元本(追加型投資信託を保有する投資家毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

◆お申込みは

野村証券

商号：野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。